



トップ62人の資産 = 貧しい36億人の資産

オックスファムという貧困克服の支援を世界で展開する国際組織がある。一九四二年、ナチスドイツの攻撃で窮地に陥ったギリシャ市民をイギリスのオックスフォードの市民が支援して始まった。そのオックスファムのレポートが新聞で紹介された。世界トップの富裕層六二人の資産が下層の三六億人の資産合計と同じだという。

ところが、二〇一五年になると、貧しい半数の人の資産合計は約一七六兆円に減少。一方、トップの資産は多くなった。実際、トップ六二人の資産は、二〇一〇年から二〇一五年までの五年間に四五%増えて、約一七六兆円になった。

つまり、トップ六二人の資産と貧しい三三億人の資産合計が同じになった。世界経済は貧しい人がますます貧しく、大金持ちがますます富むように動いている。アベノミクスでも、大金持ちが富む一方、庶民は貧しくなっているのではないか？。皆さんはどう思われますか？

そこで、OXFAMのHPを調べた。まず、世界の人々七二億人(二〇一三年)を、保有資産の多い順に並べる。先頭が大金持ち。ビルゲイツなどがある。最後尾には貧民。

さて、真ん中で世界の人々を分ける。後半分が貧しい三六億人。資産合計金額はグラフから読み取りドルを円に換算したので細かいところまで正確とは云えません。

黒部ダム

富山県中新川郡立山町
なかにいかわぐん



雪解け水で満水の黒部湖を遊覧船がゆつたりと進む。まだ梅雨のあけない七月半ば。雲は低く、遠くの山々は霞んでい

る。戦後十年経った一九五六年に黒部ダムの建設工事が始まった。雑誌「小学〇年生」にはよく載って居た。特にダム工事現場に向かうトンネル工事の苦労話が圧巻だった。

アメリカではテネシー川流域開発でダムが沢山造られた。アメリカのダムは大して高くないが長い。そこにできるダム湖は広大。黒部ダムは一八六mという高さ。そこでき

る湖は細長い。日本の山の険しさを実感した記憶がある。そのテネシー川のダムは自然の生態系を壊すと、最近取り壊された。考えさせられる。

2016.7.14 家